

事業者の
皆様へ

山形方式節電第一段

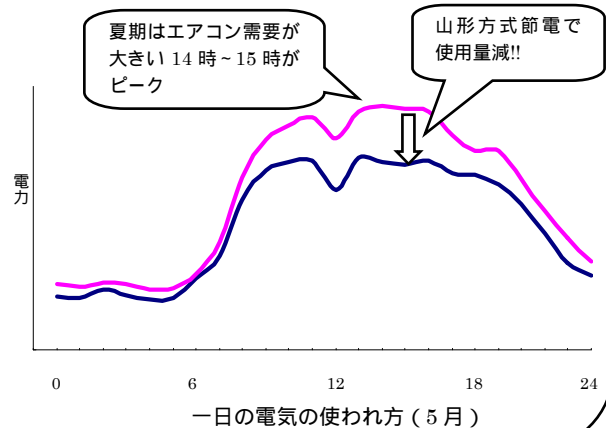
夏に向けた社会実験にご協力をお願いします

社会実験実施の趣旨

東北地方太平洋沖地震により、女川原子力発電所の停止、太平洋側の火力発電所損壊によって、東北電力(株)の供給能力が低下しています。

現在、皆さんの節電の取組みにより、計画停電は回避されていますが、夏場のエアコン使用などによる電力需要の増加によって、供給量が不足することが懸念されます。

電力需要増加による突発的な停電や計画停電は、県民生活・企業活動に対する影響が大きく、これらを回避するための対策を検討するため、社会実験に御協力をお願いします。



取組みの柱

ライフスタイルの見直しによる節電の実施

早寝・早起き・家族団らん

ピークカットに向けた節電運動の実施

操業時間の変更・短縮

県民の主体的な参加による運動展開

企業、県民からの節電アイデア募集による普及啓発

いつ

時間帯による違いを検証し対策を検討するため、実施時間帯を変えて2回実施します。

社会実験実施日には、一層の節電を意識いただき、特に、下記時間帯は重点的な節電の取組みをお願いします。

第1回：平成23年5月25日(水) 重点時間帯 17:00~19:00

第2回：平成23年5月31日(火) 重点時間帯 13:00~15:00

お問い合わせ先

山形県生活環境部地球温暖化対策課 地球温暖化対策担当
Tel：023-630-2336 Fax：023-630-2133
e-mail：yondanka@pref.yamagata.jp

裏面も
ご覧ください

できるところから実践

～ 例えば、以下のような取組みを紹介させていただきます ～

[オフィスビルなどの取組み(例)]

【照明】

執務室、会議室、廊下、ホール、トイレ等では、無人の場合にはこまめに消灯する。昼休みは一齐消灯する。日中は、自然光を最大限利用し消灯する。

執務室内の通路部分や、廊下など照明を間引く。

【空調】

室内の温度設定は、冬は20、夏は28設定を目安にする。

冷房期間は窓を開けて涼しい外気を取り入れ、できるだけ空調を使わないようにする。

クールビズの先取りなど極力衣服により調整する。

【待機時消費電力】

パソコン等事務機器類は外出や会議時などの不使用时には電源をオフにし、待機時消費電力を削減する。

休業日はコンセントを抜き、待機消費電力を削減する。

【その他】

操業を行う場合には、操業ラインの一部停止、または稼働率を一時的に下げる。

時差出勤や操業時間の調整など、ピーク時間帯をなるべく控える。

[商業施設での取組み(例)]

ショーウィンドーなど展示品への演出用照明台数を極力削減する。

ネオンサインや看板、外灯などは、消灯もしくは間引きする。

ショーケースは決められたルールにより温度管理を行い、冷やし過ぎないようにし、閉店後はナイトカバーにより冷気の漏れを防止する。

[工場での取組み(例)]

工場内の空調や冷凍冷蔵設備の設定温度がルールどおりとなっているか確認し、冷やしすぎないようにする。

工場では休憩時や引継ぎなど、生産を停止している時間帯は可能な限り生産設備を停止する。また、無人のエリアは消灯する。

取組み事例を教えてください

社会実験で取組んだこと、これまで取組んできたこと、検討していること、どんなことでも結構です。アイデアを募集しています。